

地元主体による城崎温泉における交通環境改善の取り組みと、地域一体となった「そぞろ歩きルール」の実施

山崎 博巳 / 豊岡市役所 建設課(城崎温泉交通環境改善協議会事務局)
土井 勉 / グローカル交流推進機構(同協議会アドバイザー)

1. 背景と目的

(1) 城崎温泉の概況

城崎温泉の位置

城崎温泉は兵庫県豊岡市の北西部、豊岡市に位置する日本有数の温泉地です。

大貰川と柳並木

城崎温泉の名物

海の「松葉がに」、伝統工芸「夏むらじり」、夏は毎日「夢花火」

(2) 観光の状況

観光入込客数の推移

10年間で2割増

外国人宿泊者数の推移

10年間で29倍

「そぞろ歩き」を楽しむ外国人観光客

城崎温泉は、「温泉街全体が一つの大きな旅館で、駅は玄関、道路は廊下、各旅館は客室、外湯は浴場、土産屋は売店」と言われ、共存共栄の精神でお客をお迎えしています。

(3) 繁忙期の交通渋滞

交通混雑の状況

城崎温泉の道下りには幅員約7m程度と狭く、ここに観光客の車だけでなく、生活・業務・集配など様々な目的の車が集中するため、のんびりと街を歩く「そぞろ歩き」が困難な状況となっています。

湯の里通りの時間別交通量 2017.3.3(土曜日)

歩行者と車の交通量ピーク時間は14時台～17時台

(4) 交通事故の発生状況

事故の発生時期

事故の発生曜日

事故の発生時間帯

事故の程度

観光客の多い冬季と土曜、日曜日など、交通量の増加と共に事故件数が多くなっています。円滑な交通と歩行者の安全確保が課題となっています。

事故の発生場所

湯の里通り、地蔵湯前交差点周辺の「歩行者」×「自動車」の事故が多い

「安全・安心な「そぞろ歩き」の実現」に向け、地元住民が主体となって取り組みをスタート

2. 交通環境改善策の検討

(1) 協議会の設立

地域住民

- 町内会会長
- 豊岡市城崎消防団
- 城崎中学校PTA
- 城崎小学校児童会
- 城崎こども園
- 城崎このさき100年会議

関係事業者団体

- 城崎温泉観光協会
- 城崎温泉旅館協同組合
- 豊岡市観光協会
- 豊岡市観光協会城崎支部
- 商業組合
- 城崎町工業会
- 城崎町商工会
- 城崎温泉飲食店組合
- 城崎温泉地産組合

行政

- 兵庫県(オプナー)
- 豊岡市(事務局)

学識経験者

- 土井 勉(博士(工学))

・地域住民が主導し、行政が支援
・官民学で課題を共有

(2) 歩行空間拡大の社会実験

目的 「車両走行速度の低下による歩行者の安全性向上」

【実験中の様子(2018.2.21~3.22)】

DATA

＜観光客アンケート＞
Q.車が危険と感じたか

＜ETC2.0分析結果＞
速度データ比較

結果

- 車の速度低下は約1km/hだった
- 並んで歩ける人数が2人から3人に増えたが、安全性に課題がある
- 路肩の駐車車が歩行者や車の通行障害の要因であることを確認した

(3) 駐車抑制の社会実験

目的 「駐車抑制による交通環境改善効果の確認」

【実験中の様子(2019.9.11~9.15)】

DATA

＜駐車回数＞

＜歩行者発生原因と対向車の存在＞

結果・考察

- 実験時間帯の駐車車両が減少し、協力を呼びかけることで駐車抑制を確認した
- 歩行者発生原因の約9割に対向車の存在を確認した
- 一方通行化することで歩行者の通行を抑制できる可能性が高い

(4) 交通の現状把握とルールについての意見交換

【休日・全車種の集約OD量の内訳】

＜集約OD量の内訳(2019.11.16(土))＞

市街地方面からの流出入交通

市街地方面からの流出入交通

【ルール実施についての意見交換会(2020.10.18)】

主な意見

- 午前中に配達を済ませることで対応できる。
- 取引先と調整する。15～18時の規制であれば対応可能と思われる。
- 実施可能で良いルールだと思う。

地域の合意を確認し、ルールの取り組みをスタート

3. そぞろ歩きルールの内容

城崎温泉街のより良い歩行空間の確保を目指して「そぞろ歩きルール」をスタート(2020年12月1日)

ゾーン30区域(車両走行速度30km以下)

15時～18時は「駐停車を控える」「車の使用を控える」

- ★「多少の不便」を、地域住民や事業者が共有して、交通課題の解決に取り組みます

町内駐車場を活用する

- ★短時間の所用であっても町内駐車場を利用し、交通障害となる路上駐車を削減します

「交通マナーを守る」(歩行者を優先する)

- 断続的な路上駐車をしない
- 見通しの悪い場所で駐車をしない
- 進行方向と逆向きに駐車をしない

みんなでルールに取り組むんじゃ

城崎温泉観光協会HP 豊岡市マスコット 玄さん

以下のことについて地域の皆さんへ呼びかけています

- 車を使用する時間帯の配慮
- 荷捌き、集配等の業務時間などについて事業者間での調整
- 駐停車や走行速度などの交通マナーについて、従業員の方々も含めた再認識
- 町内駐車場を活用し、路上駐車を削減することへの配慮

「まずはできることから」取り組みをはじめよう!

PRグッズ 第1弾

「そぞろ歩きルール」クリアファイルを城崎地域に全戸配布



4. ルールの効果

自動車交通量の時間推移

ピークが14～15時台に移行

歩行者の車道へのはみ出し回数の時間推移

17～18時台で1割程度に減少

駐停車台数の時間推移

ルールの時間帯で12%減少

配達関係車両駐停車台数の時間推移

ルール時間の前に配達の傾向

考察

- ・地域住民・事業者間で交通量ピーク時を避ける動きが出はじめている
- ・ルールがさらに広がることで、歩行者の安全性向上につながる

5. ひろがる取り組みの輪

意識の変化 ① ピーク時間を回避した注文・配達 ② 配達車の削減に向けた在庫商品の確保

～城崎温泉に関わる多様な事業者を集め「そぞろ歩きルール連絡調整会議」を開催～

＜物産店＞

- ・交通量が少ない時間帯に配達していただくよう、取引先に依頼しています。
- ・仕入れ数を増やすなど工夫し、計画的に注文するようになりました。

＜卸＞

- ・各物産店の理解を得て、15時～18時の駐停車は控えています。
- ・15時～18時はできるだけ車を控えるようになっています。

＜運送業＞

- ・配達時はなるべく軽自動車を使うようにしたいと思っています。
- ・取引先の理解が得られれば、午後の荷物を翌朝の便で配達し、15時～18時の配達を避けることができます。

路線バスのダウンサイジングの試行

大型車両の廃止による歩行者の安全確保、地域の皆さんや高齢者の利便性を向上させる目的でバス事業者が独自に取り組まれています。

小型車両による配達

一部の酒屋さんなどでは、温泉街での配達の際、交通の支障にならないよう小型車両を導入しています。

6. 今後の展開

- そぞろ歩きルールの継続
 - ・そぞろ歩きルールが地域に根付くよう、粘り強く周知啓発活動を継続します
 - 温泉街全体の交通のあり方の検討
 - ・車両流入を抑制する方策の検討を進め、歩行者中心の街路の実現を目指します(公共交通機関との連携、フリッジパークの検討など)
- 【城崎温泉交通環境改善計画】